

年度/Academic Year	2024
授業科目名/Course Title (Japanese)	情報システム入門
教員名/Instructor (Japanese)	宮川裕之
講義概要/Course description	
<p>情報システムは技術や社会・経済の状況の変化とともに、その目的も変化してきた。そのため、求められる人材像も情報システムの開発目的の変化に呼応して変化してきている。情報社会の変遷と時代が求める人材像との関連を振り返ることで、DX時代に求められる人材像を考察する。</p> <p>合わせて、ADPISAの教育プログラムの根底に流れている考え方である広義の情報システムを扱い、実習を交えて理解を深めていく。</p>	
達成目標/Course objectives	
<p>ISアーキテクトの専門性とIT専門家との違いを説明でき、ISアーキテクトに必要な力の多様性を説明できる。</p> <p>ISアーキテクトのマインドセットを身につけることにより、学びの持続性と応用力を醸成させる。</p> <p>広義の情報システム、ビジネス・システムとコンピュータ・システムの関係性を説明できる。</p>	
授業計画/Lecture plan	
講義回	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・情報システムの目的の変遷と求められる人材像
2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク&ディスカッション
3	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルトランスフォーメーションとISアーキテクトの役割
4	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク&ディスカッション
5	<ul style="list-style-type: none"> ・システムとは？情報とは？データとは？情報システムとは？ ・情報システム構築の進め方
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディーA大学の教育研究システムの導入のケース ・教育研究機関というところ
7	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの目的の変遷と情報部門の役割ー「つなぐ」機能 ・情報システムポリシーの組織的オーソライズ ・ルーティンワークと創造的活動
8	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの課題説明 ・グループワーク&ディスカッション
9	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク&ディスカッション

10

・成果の共有と振り返り

授業方法/Method of instruction

講義とグループワーク&グループ相互のディスカッションのハイブリッド方式
理解を深め、定着させるための演習と相互共有

成績評価方法/Evaluation

授業への参加態度（30％）、受講レポート（40％）、演習成果（30％）

参考書/Reference books

『情報システム学へのいざない-人間活動と情報技術の調和を求めて』浦昭二、細野公男、神沼靖子、宮川裕之、山口高平、石井信明、飯島正、培風館（1998）。